

# 院内がん登録統計 (令和2年)

- このデータは令和2年1月1日～令和2年12月31日の間に、  
当院の入院および外来で、診断や治療等を行った悪性新生物及び中枢神経系腫瘍、  
消化管間質腫瘍（GIST）、一部の境界悪性の卵巣腫瘍を  
「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」  
に基づき登録し、当院が独自に集計したものです。
- 「項目番号420：症例区分」が「80:その他」も含んだ集計となっています。
- 部位別の集計を参照の際は、「部位別の集計表を見るとき の注意点」を  
お読みください。

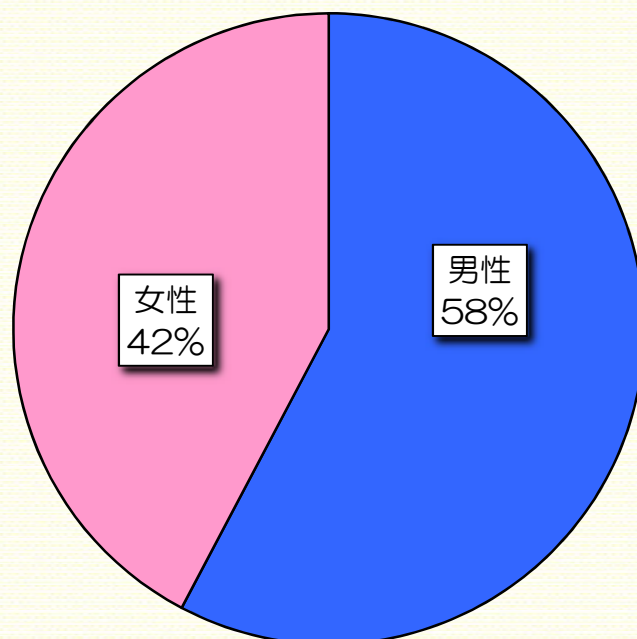
## -目次-

1. 男女の割合と登録件数
2. 性別年齢階層別の割合
3. 原発部位別の登録割合
4. 症例区分別の登録割合
5. 都道府県別及び市区町村別の登録割合
6. 来院経路の割合
- ※部位別の集計表を見るとき の注意点
7. 上位10部位性別年齢階層別登録割合及び治療内容割合
  1. 肺
  2. 大腸(結腸・直腸)
  3. 乳房
  4. 胃
  5. 前立腺
  6. 膵臓
  7. 食道
  8. 肝臓
  9. 口腔・咽頭
  10. 胆のう・胆管

# 男女の割合と登録件数

男女比率	2020		
	男性	女性	合計
登録件数	486	356	842
割合	58%	42%	100%

男女の割合



○2020年の全登録件数は842件です。

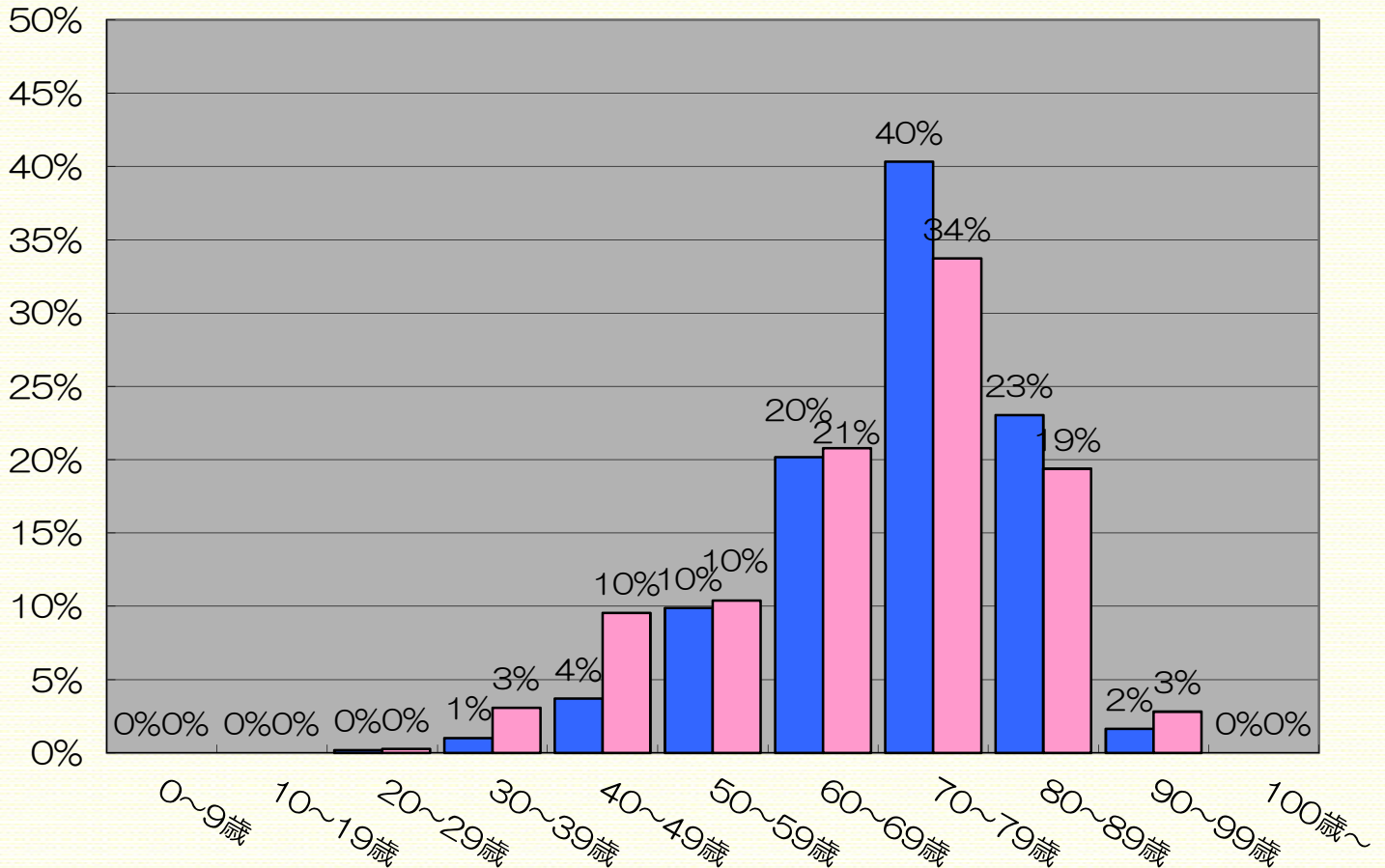
○ 男性の悪性新生物等の登録件数は486件、女性の悪性新生物等の登録件数は356件です。

○ 男女比率は、男性が58%、女性が42%です。

# 性別年齢階層別の割合

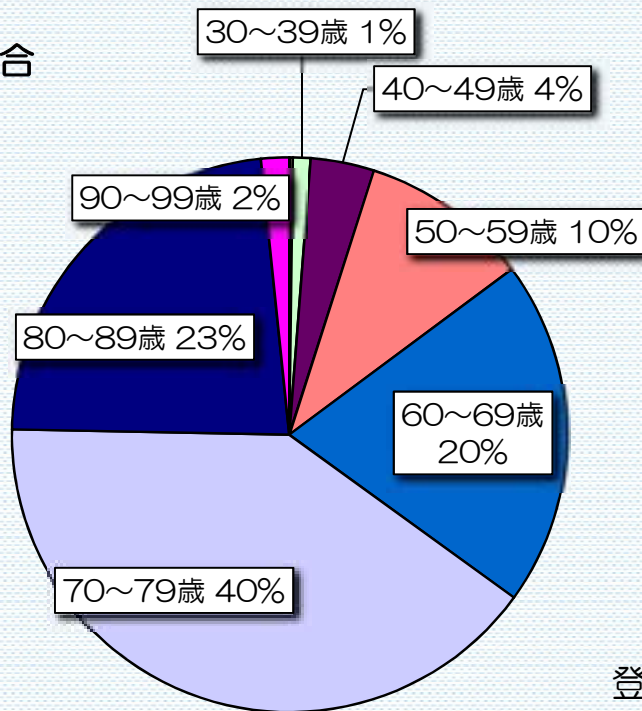
性別年齢階層別の登録割合

登録件数=842



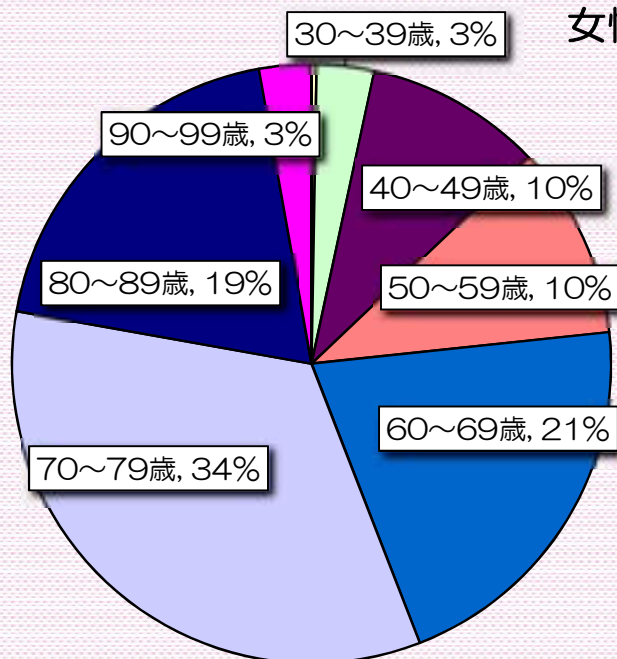
○ 年齢層は、男性・女性とも70歳～79歳が最も多く、次いで男性では80歳～89歳、60歳～69歳の順、女性では60歳～69歳、80歳～89歳の順で多くなっています。

### 男性の年齢階層別の割合



登録件数=486

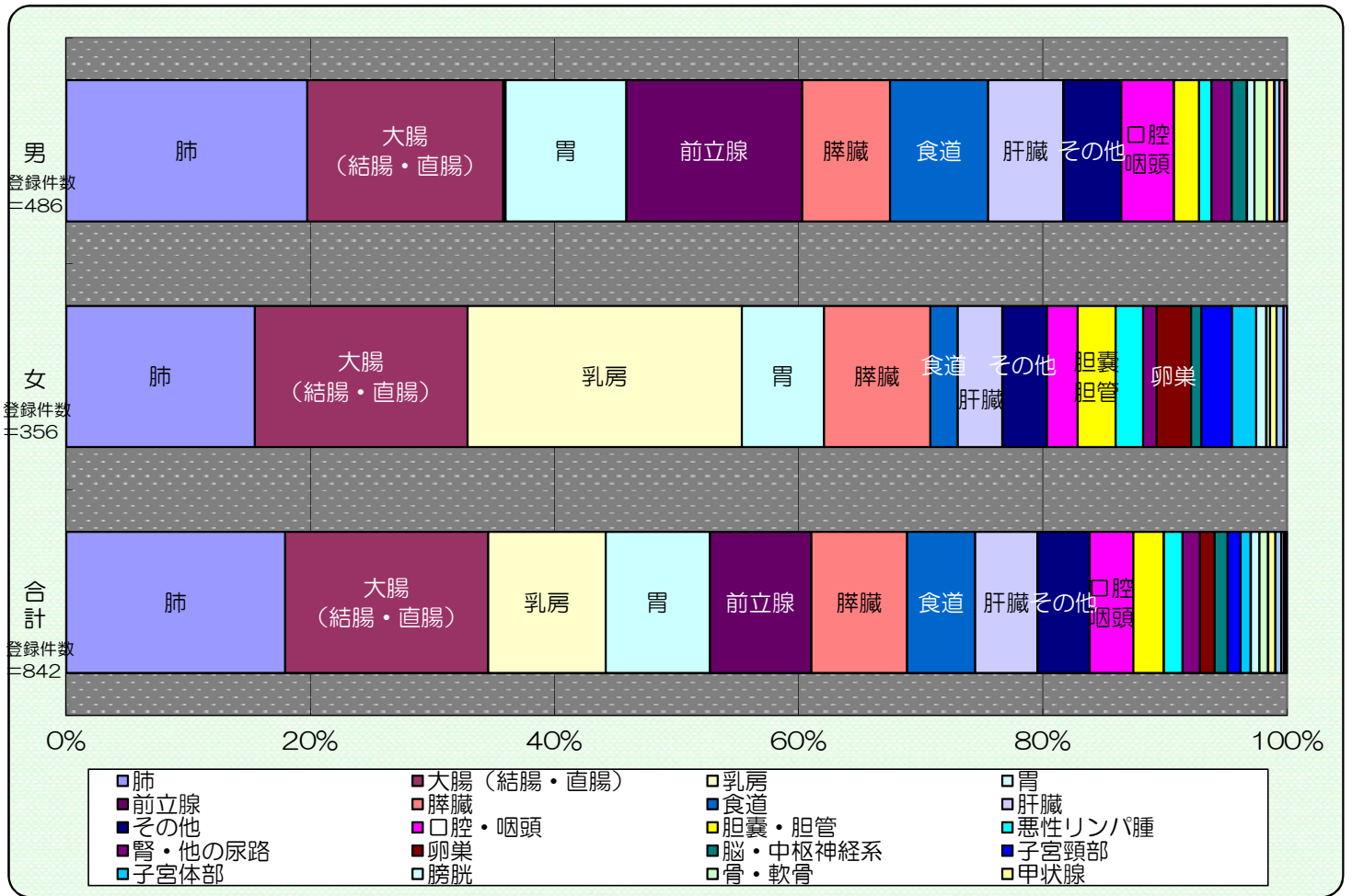
### 女性の年齢階層別の割合



登録件数=356

○ 当院では、男性は高い年齢層の割合が高く、女性は男性に比べ低い年齢層（40歳代）の割合が高くなっています。

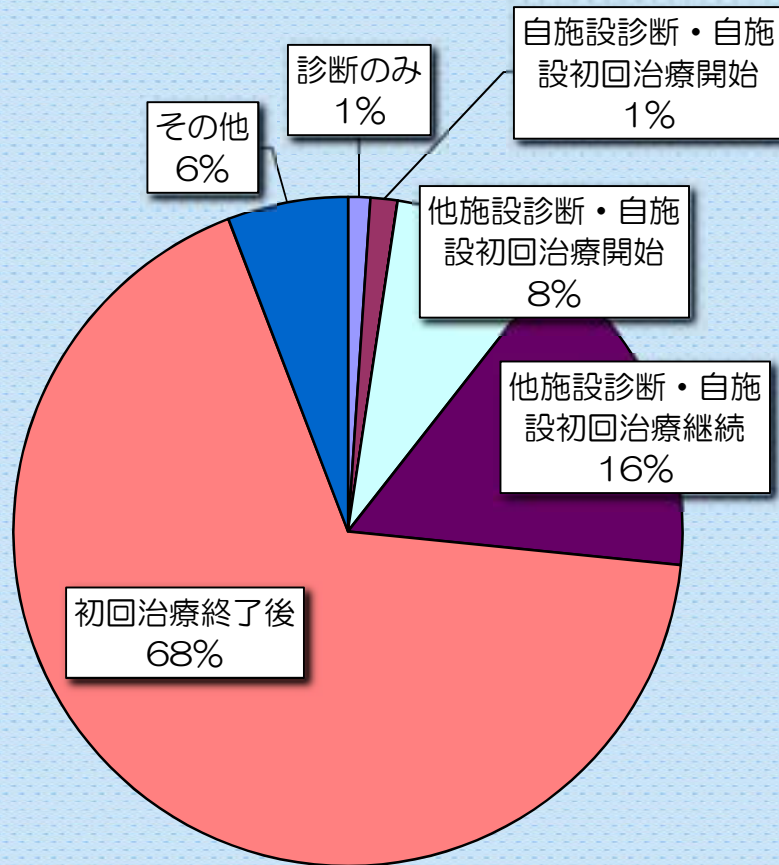
# 原発部位別の登録割合



○男性は、1：肺 2：大腸(結腸・直腸) 3：前立腺 4：胃 5：食道の順で割合が高くなっています。女性は、1：乳房 2：大腸(結腸・直腸) 3：肺 4：膵臓 5：胃の順で割合が高くなっています。全体では、1：肺 2：大腸(結腸・直腸) 3：乳房 4：胃 5：前立腺の順で割合が高くなっています。

# 症例区分別の登録割合

症例区分別の割合

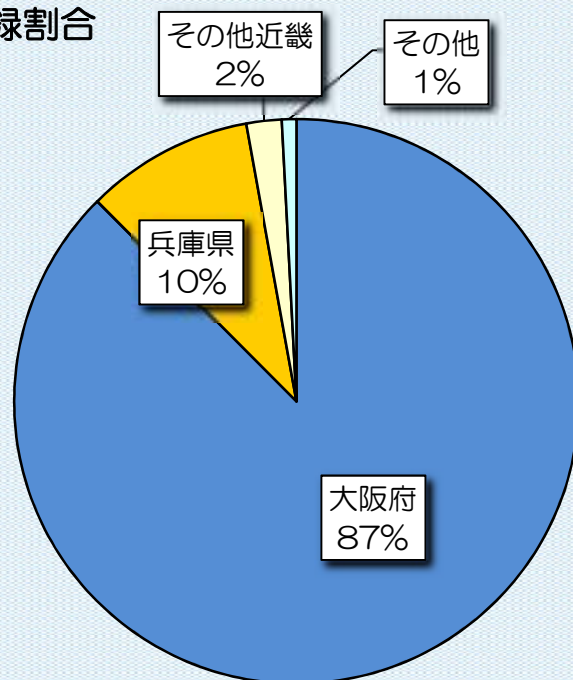


登録件数=842

○当院では、「初回治療終了後」（初回治療が終了した後の継続治療や、再発や転移したがんの治療）の割合が最も高く、次いで「他施設診断・自施設初回治療継続」（他施設で診断・初回治療が開始され、その初回治療継続の症例）、「他施設診断・自施設初回治療開始」（他施設で診断され、当院で初回治療開始された症例）の順で割合が高くなっています。

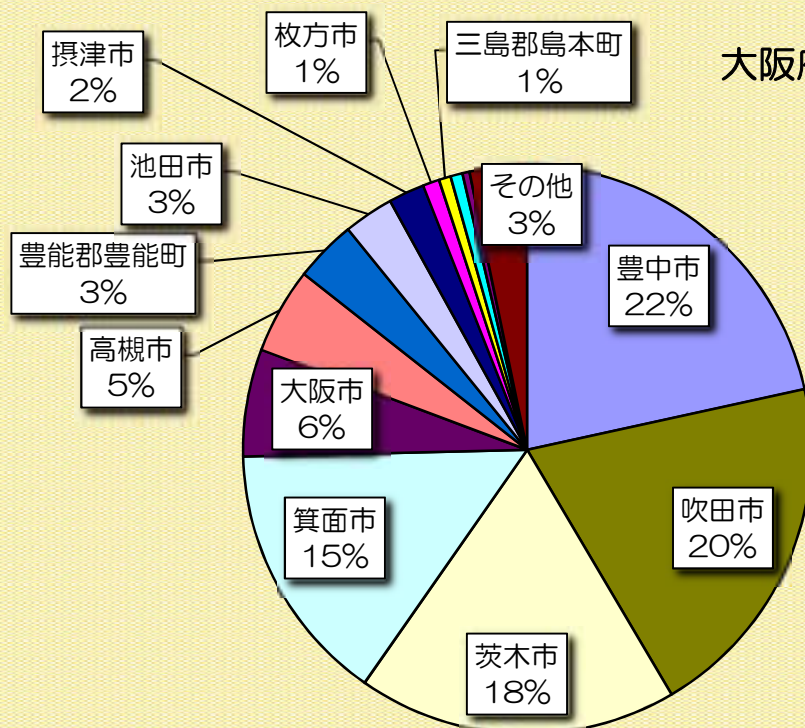
# 都道府県別及び市区町村別の登録割合

都道府県及び地方別の登録割合



登録件数=842

大阪府内の市区町村の割合



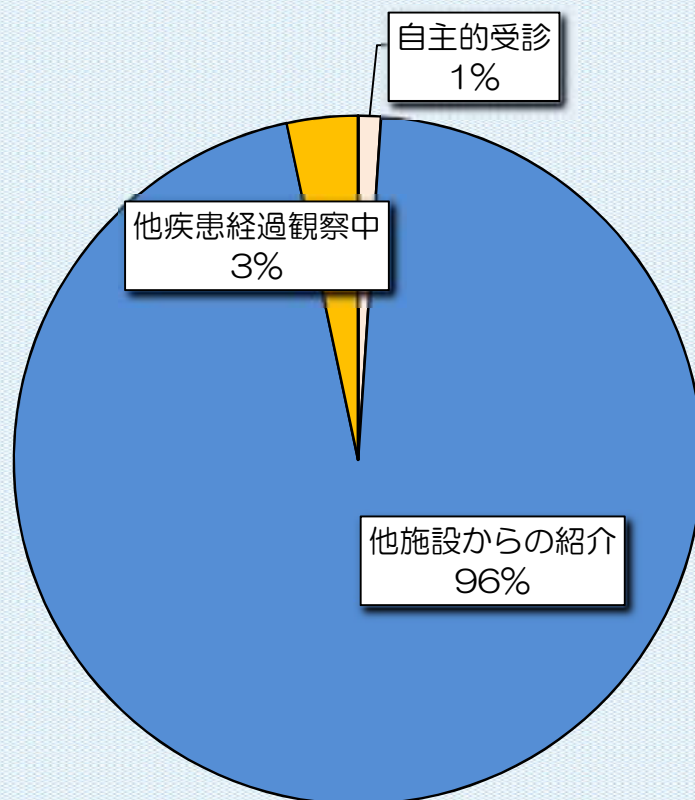
登録件数=737

○都道府県別では、大阪府が87%で兵庫県が10%、その他近畿地方が2%という割合になっています。

○大阪府内で見ると、豊中市、吹田市、茨木市、箕面市の順で割合が高く、75%を占めています。次いで大阪市、高槻市、豊能郡能勢町、池田市という順になっています。

# 来院経路の割合

来院経路別の割合



登録件数=842

○来院経路の比率は、他施設からの紹介が最も多く96%となっています。次いで他疾患経過観察中（自施設で他疾患により経過観察中にがんと診断あるいはがんが疑われた場合）、自主的受診の順となっています。



## ※部位別の集計表を見るとききの注意点

○以下の部位別の集計は、当院独自の集計方法となりますので、  
下記を確認の上ご参照ください。

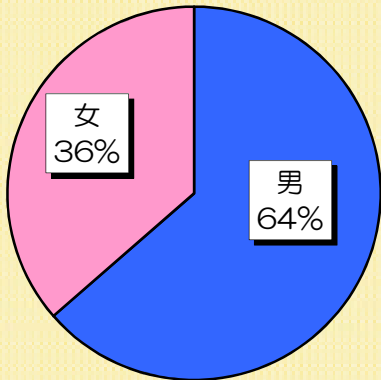
※部位別の集計では、初回治療、初回治療継続症例だけでなく、  
初回治療終了後の再発・転移症例等を含む、全ての登録情報で集計を  
行っています。

※放射線治療には症状緩和的治療（除痛目的の放射線治療）が含まれており、  
原発巣に対する治療だけでなく、転移巣や再発巣に対する治療や腫瘍の  
縮小目的以外の治療も含まれています。

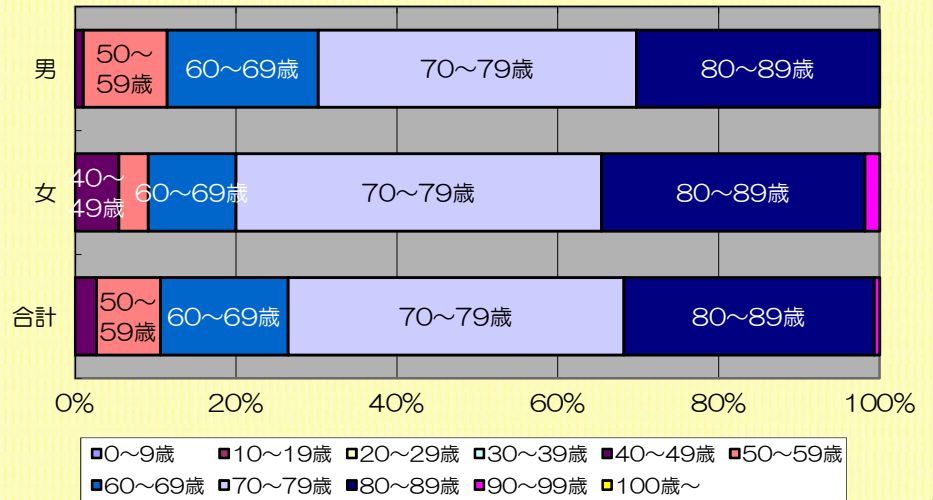
※治療内容の「その他」は、外来診療や一般病棟での加療及び対症療法（症状緩和を  
目的とした薬物療法等）や経過観察等になります。

# 1. 肺

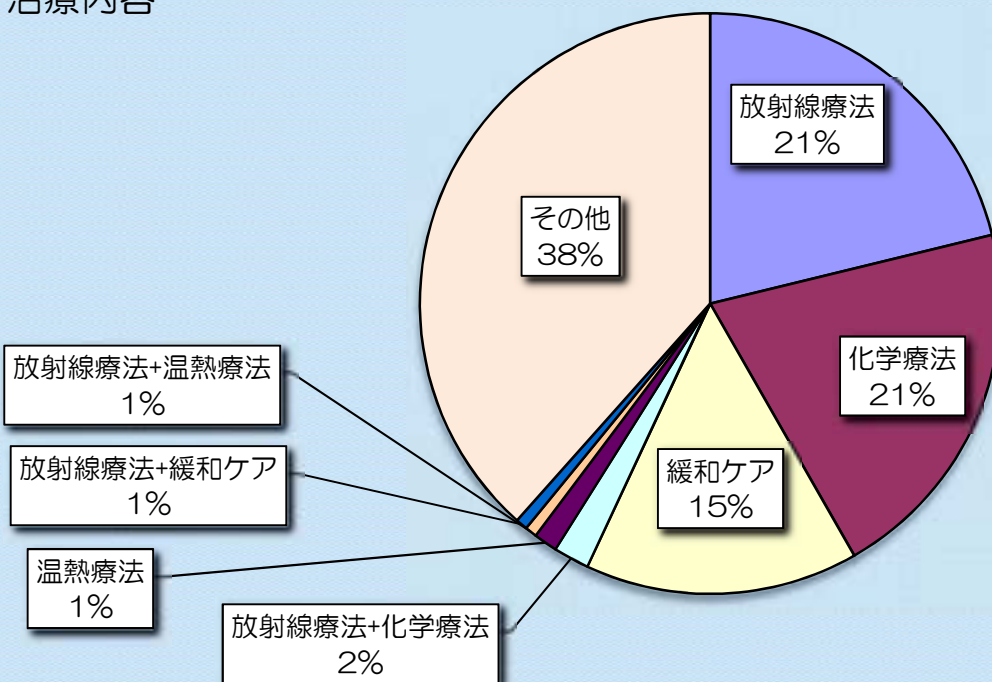
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肺がんの登録件数は151件です。

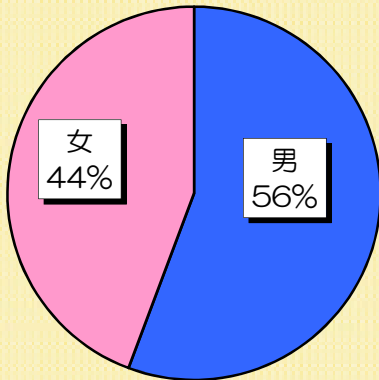
○当院では、肺がんの男女比率は男性が64%、女性が36%となっています。

○年齢階層は、男女とも70~79歳の割合が高くなっています。

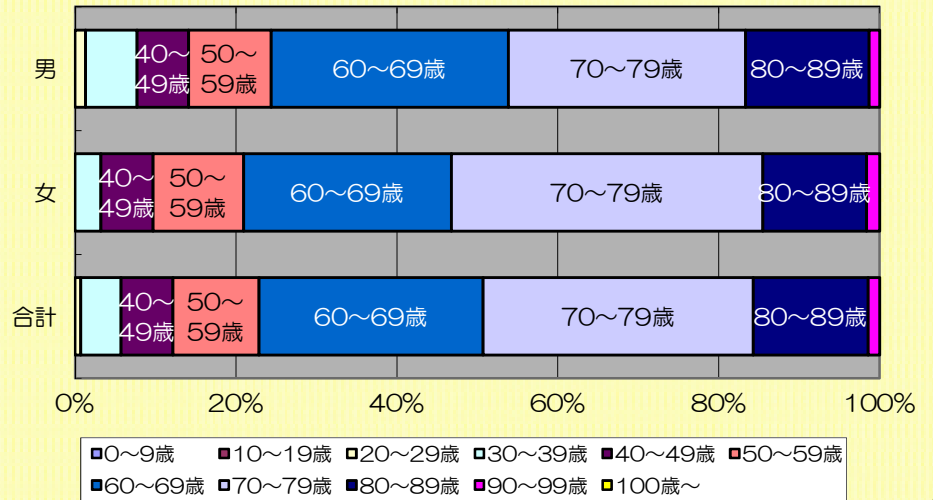
○治療の内訳は、放射線治療が最も多く、次いで化学療法、緩和ケア、放射線療法+化学療法、温熱療法の順となっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も38%と多くなっています。

## 2. 大腸(結腸・直腸)

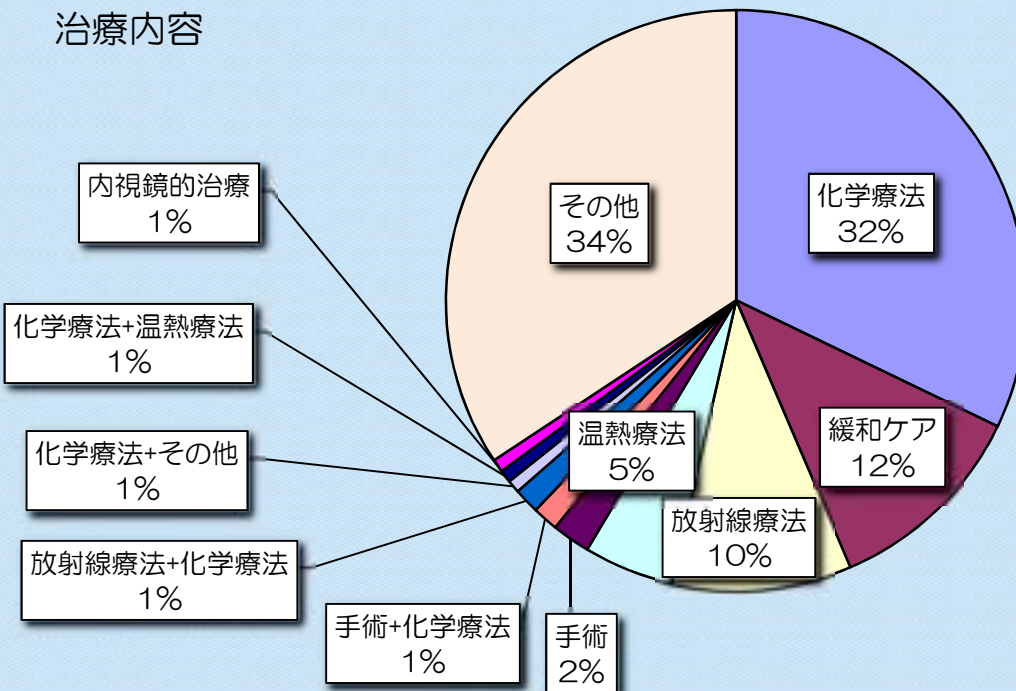
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○大腸がんの登録件数は140件です。

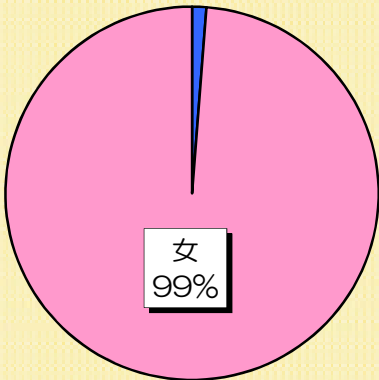
○当院の大腸がんの男女比率は、男性が56%で女性は44%となっています。

○年齢階層は、男性は、60~69歳・70~79歳が高くなっています。女性は、70~79歳の割合が高くなっています。

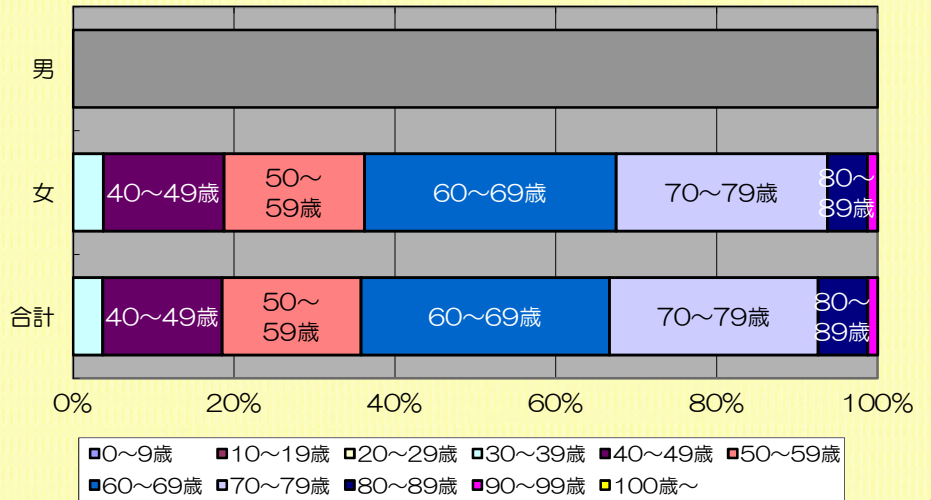
○治療の内訳は、化学療法の割合が最も高く、次いで緩和ケア、放射線療法、温熱療法、手術の順となっています。

# 3.乳房

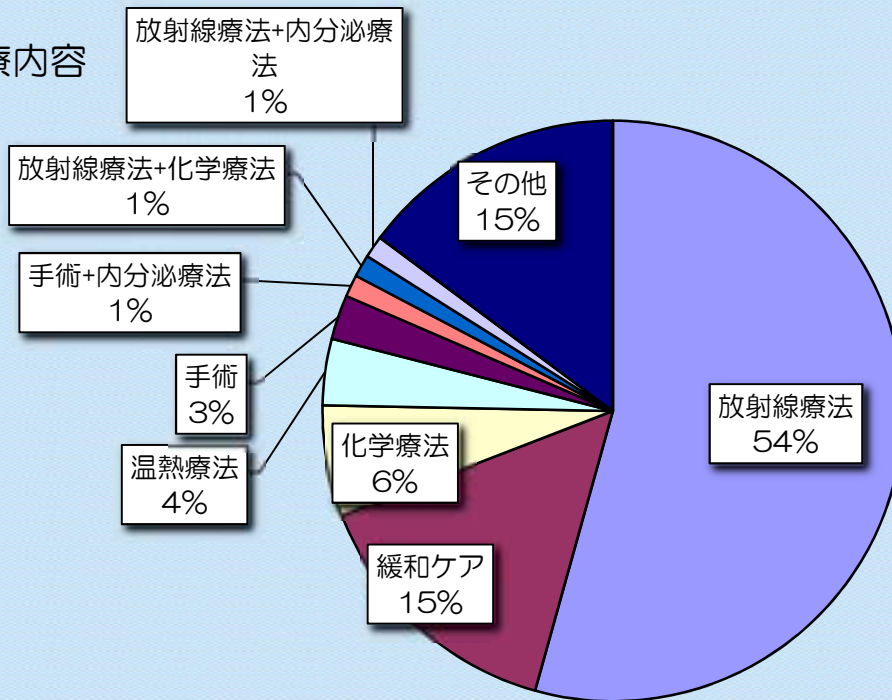
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



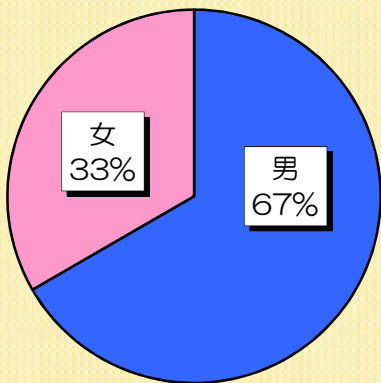
○乳がんの登録件数は81件です。

○年齢階層は、60~69歳、70~79歳の割合が高くなっています。他の部位に比べ40~49歳、50~59歳の割合が高く、年齢の若い方の割合も高くなっています。

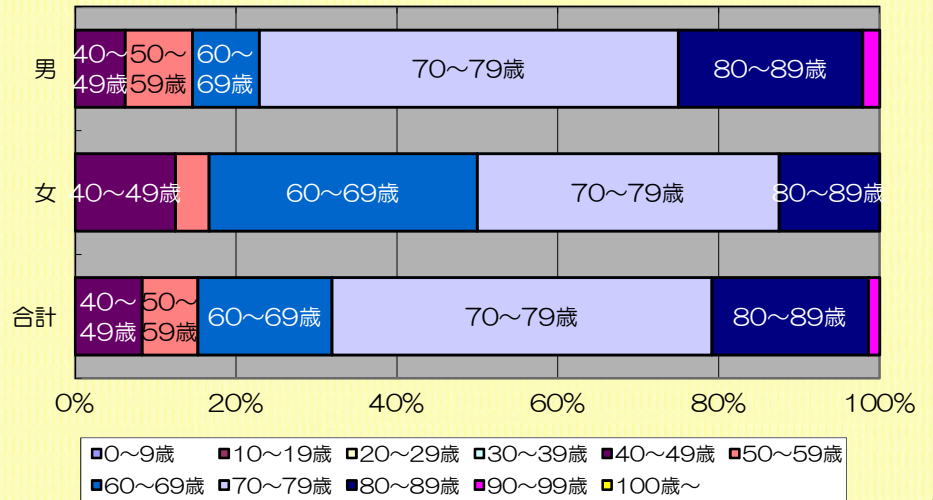
○治療の内訳は、放射線療法の割合が最も高く、次いで緩和ケア、化学療法、温熱療法の順となっています。

# 4. 胃

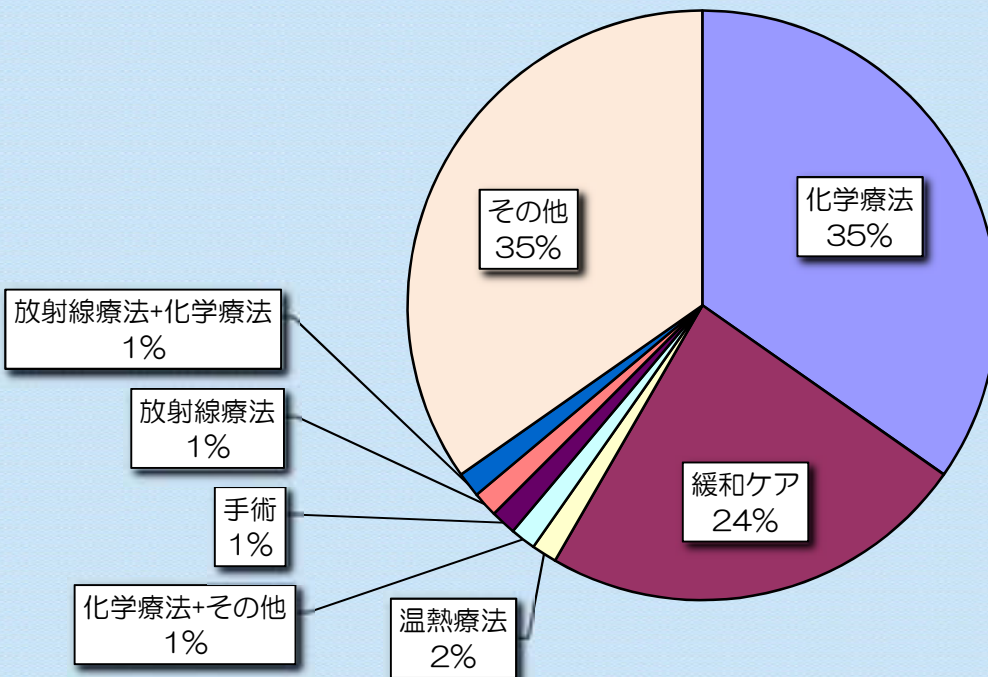
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○胃がんの登録件数は72件です。

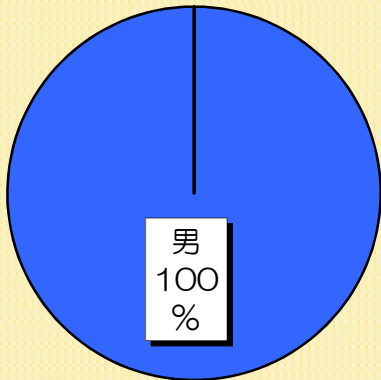
○胃がんの男女比率は、男性が67%、女性が33%となっています。

○年齢階層は、男性では、70~79歳の割合が高く、女性は、60~69歳、70~79歳の割合が高くなっています。

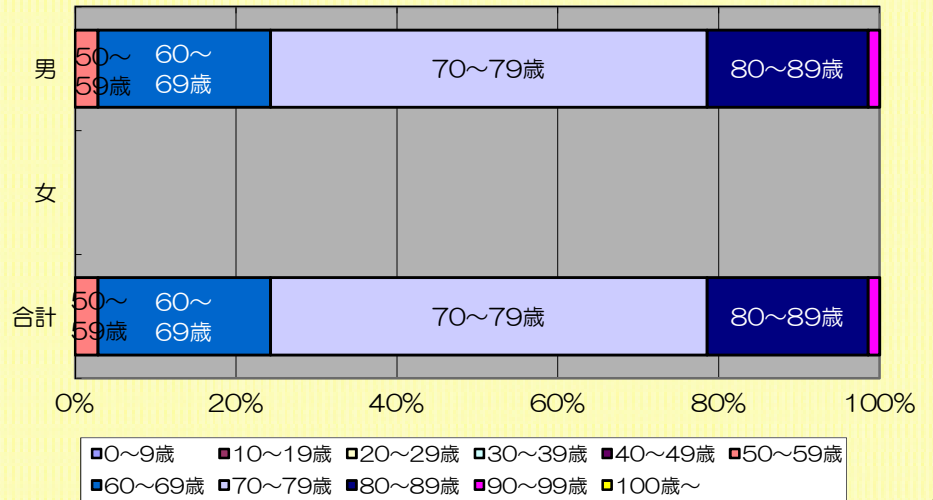
○治療の内訳は、化学療法、緩和ケアの割合が高くなっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も35%と高くなっています。

# 5. 前立腺

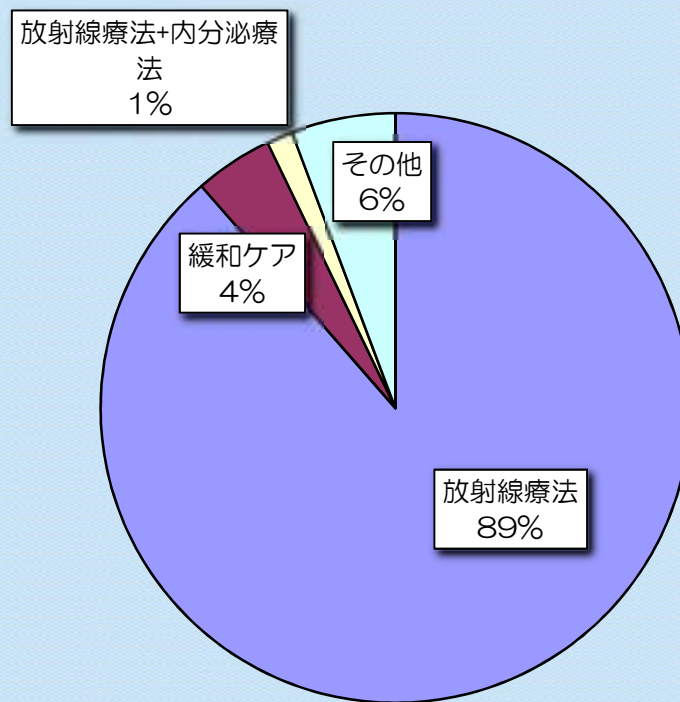
男女の割合



性別年齢階層別の割合



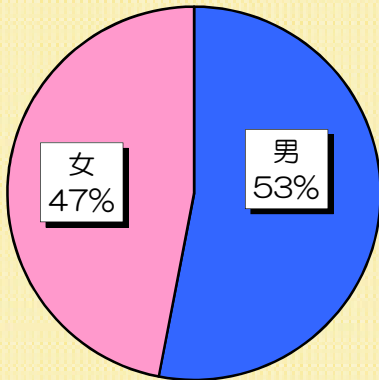
治療内容



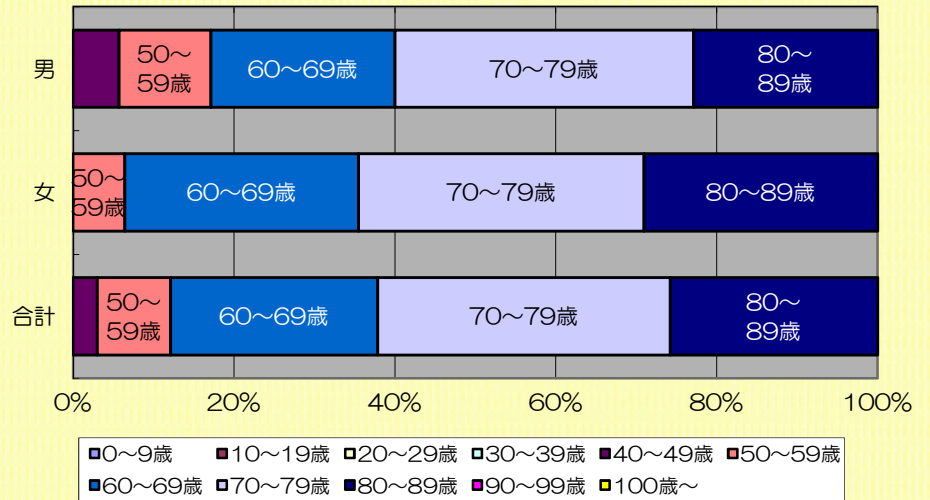
- 前立腺がんの登録件数は70件です。
- 前立腺がんは男性の疾患です。
- 年齢階層は、70~79歳の割合が最も高くなっています。
- 治療の内訳は、放射線療法の割合が89%と最も高くなっています。

## 6. 膵臓

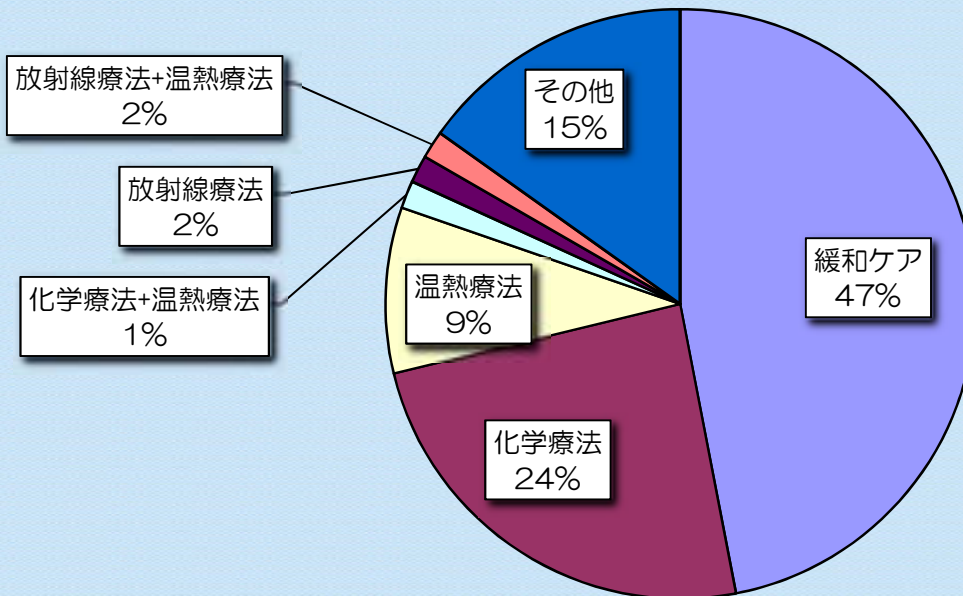
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○膵臓がんの登録件数は66件です。

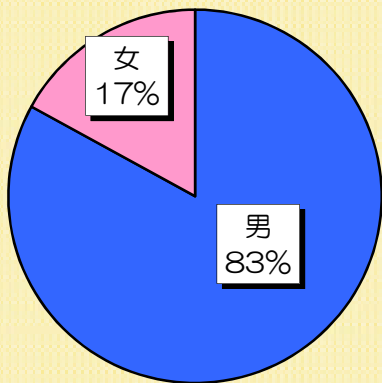
○膵臓がんの男女の割合は、男性が53%、女性が47%となっています。

○年齢階層は、男性では70~79歳の割合が高く、女性は60~69歳、70~79歳、80~89歳が同じくらいの割合になっています。

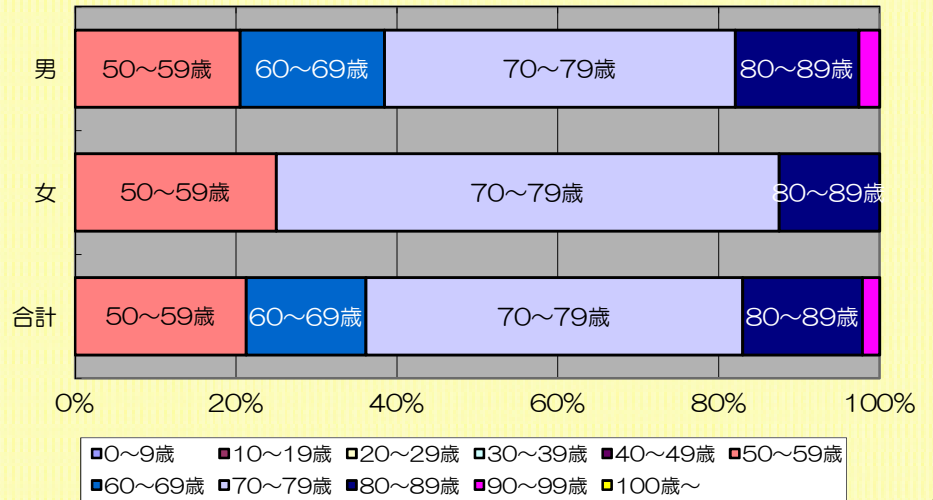
○治療の内訳は、緩和ケアの割合が最も高く、次いで化学療法、温熱療法の順となっています。

# 7. 食道

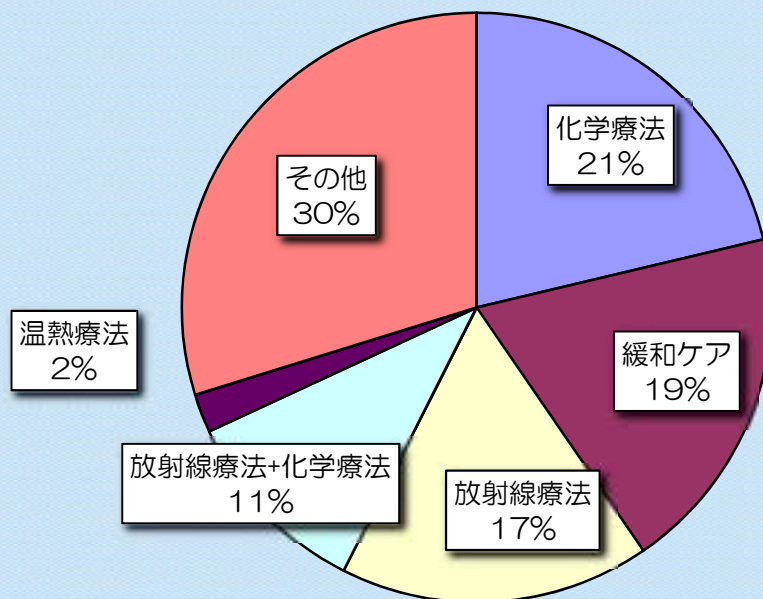
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○食道がんの登録件数は47件です。

○食道癌の男女比率は、男性が83%と高い割合を占めています。

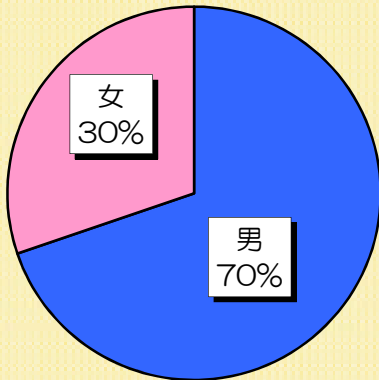
○年齢階層は、男性は70~79歳の割合が高く、女性は70~79歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、化学療法、緩和ケア、放射線療法、集学的治療の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）も30%と高くなっています。

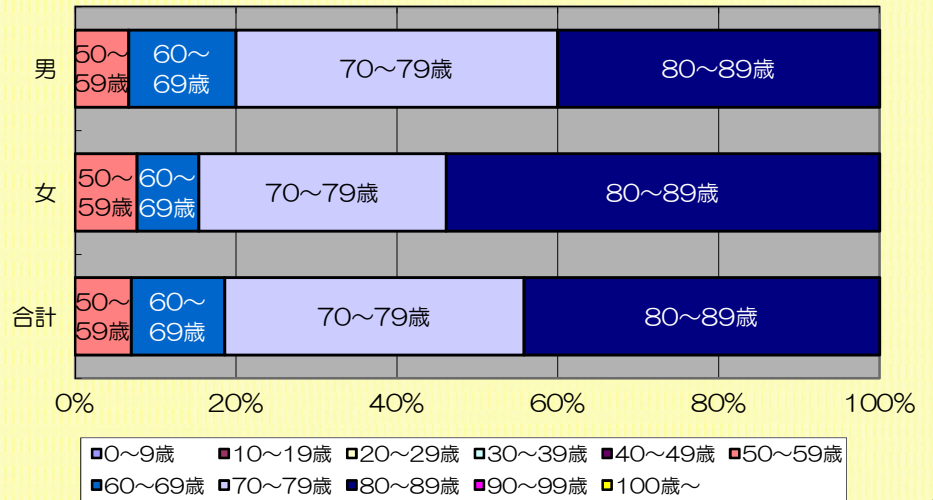


## 8. 肝臓

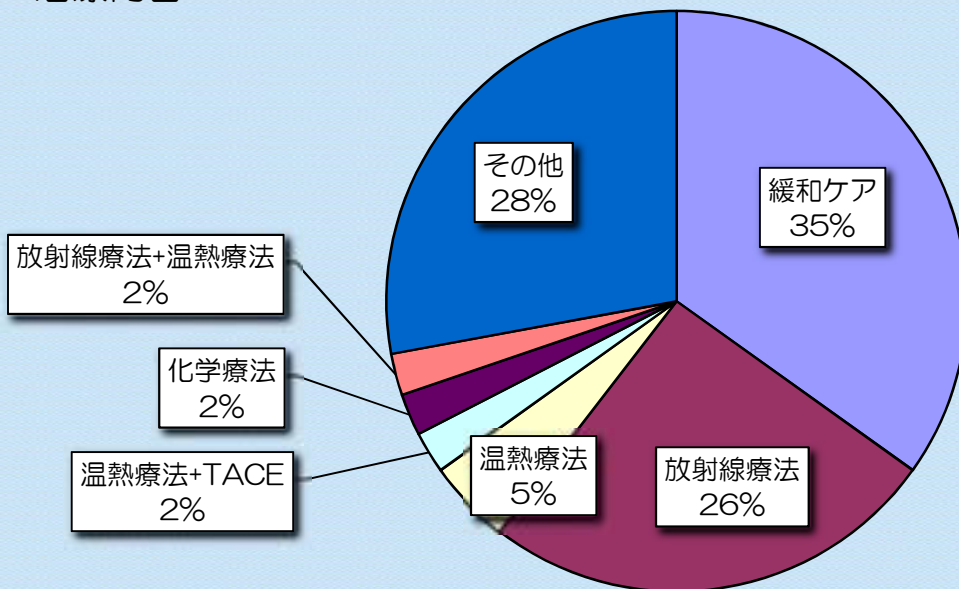
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肝臓がんの登録件数は43件です。

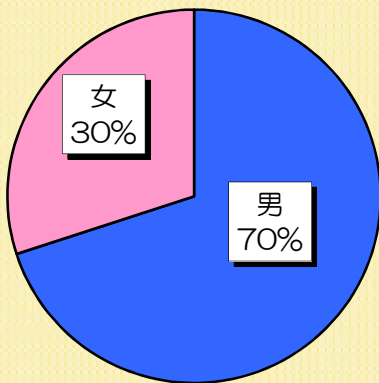
○肝臓がんの男女比率は、男性が70%、女性が30%となっています。

○年齢階層は、男性は70~79歳・80~89歳の割合が高く、女性は80~89歳の割合が高くなっています。

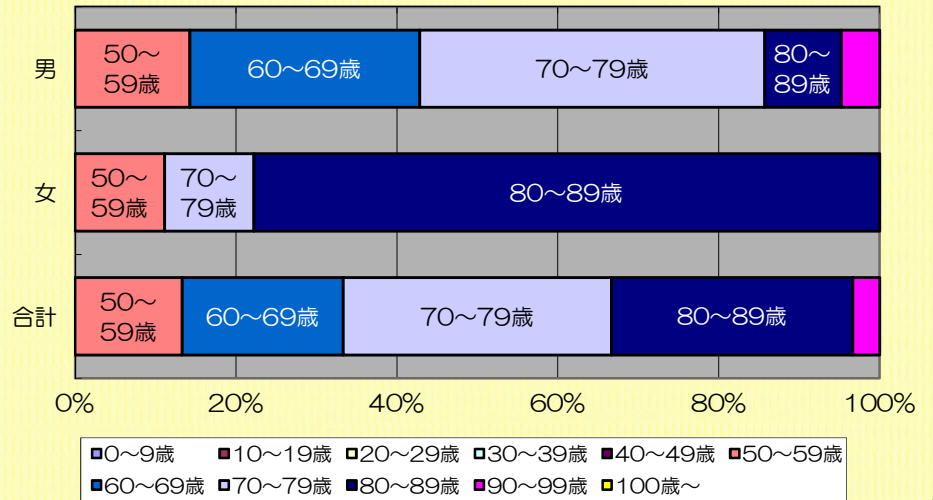
○治療内容は、緩和ケア、放射線療法、温熱療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は28%となっています。

## 9. 口腔・咽頭

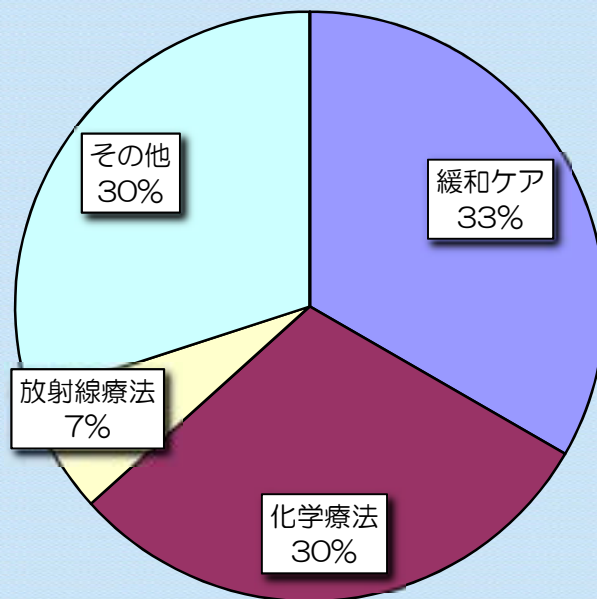
男女の割合



性別年齢階層別の割合



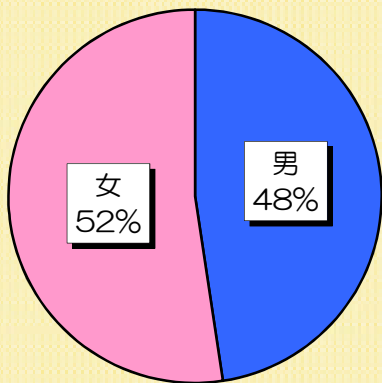
治療内容



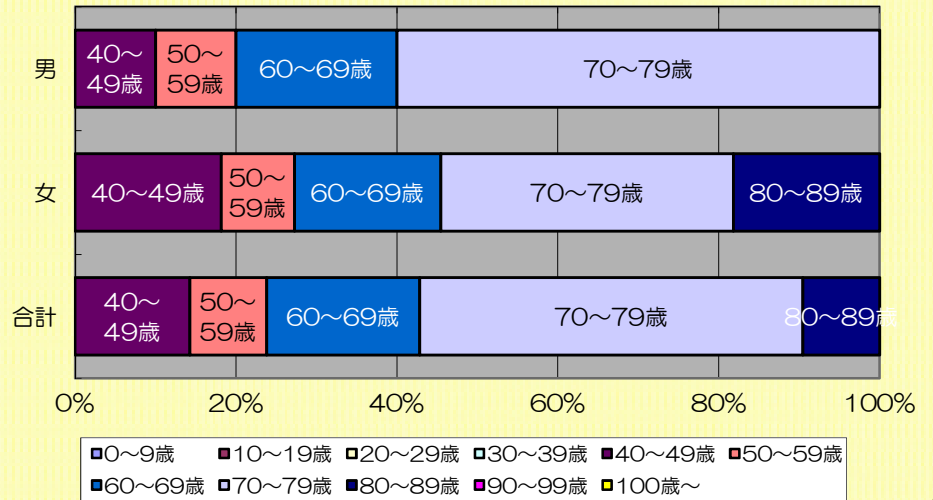
- 口腔・咽頭がんの登録件数は30件です。
- 口腔・咽頭がんの男女比率は、男性が70%、女性が30%となっています。
- 年齢階層は、男性では70~79歳の割合が高く、女性では80~89歳の割合が高くなっています。
- 治療の内訳は、緩和ケア、化学療法の割合が高くなっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も30%と高くなっています。

# 10. 胆のう・胆管

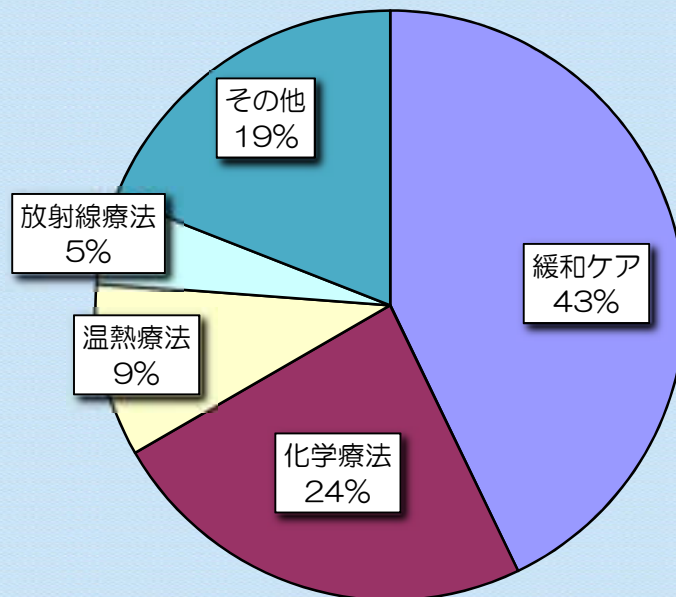
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



- 胆のう・胆管のがんの登録件数は21件です。
- 胆のう・胆管のがんの男女比率は男性が48%で、女性が52%でした。
- 年齢階層は、男女とも70~79歳の割合が高くなっています。
- 治療内容では、緩和ケアが43%と最も割合が高くなっています。次いで化学療法が24%、温熱療法が9%、放射線療法が5%となっています。